

私たちの仕事は、特別な日を創ることで

CERESPO NEWS

vol. 88 January 2017

セレスポ

セレスポ・ニュース
平成 29 年 1 月発行
第 88 号

岡崎モータースポーツ フェスティバル

自動車とともに歴史を築いてきた岡崎市で
市制 100 周年を記念した
モータースポーツイベントが開催されました！



オカザえもん



フルザえもん

セレスポ
Pick Up

株式会社セレスポ
ISO 20121 認証取得

岡崎モータースポーツ
フェスティバル

岡崎市制 100周年を記念した モータースポーツの祭典！

みそざきくん

2016年12月11日、愛知県岡崎市が市制100周年記念事業としてモータースポーツイベントを開催。岡崎市出身で日本を代表する元F1レーシングドライバーの中嶋悟氏も駆けつけ、クラシックレーシングカーのデモ走行や自動車メーカーによる魅力あふれる展示で15,000人の来場者を興奮の渦へと導いたイベントをご紹介します。



自動車とともに歩む岡崎市

岡崎市は名古屋と浜松の間に位置する人口約40万人の町。徳川家康の生誕地としても知られた歴史の深い町です。世界的な自動車メーカー、トヨタがある豊田市に隣接していることもあり、岡崎市内にも複数のトヨタ関連企業や三菱自動車の工場があるほか、現役時代に日本

人初のフルタイムF1ドライバーとして世界的に活躍した中嶋悟氏の出身地でもあります。

岡崎市が誕生した100周年記念事業として、馴染みの深い自動車を扱うモータースポーツの祭典を開催。クラシックカーやレーシングマシンを集めてプロレーサーがドライビングテクニックを披露するほか、自動車関連企業が集まり自社製

品やコンセプトモデルを展示しました。

中嶋悟氏は現役レーシングドライバーとして世界で戦う二人の息子・一貴選手と大祐選手と一緒にトークショーに出演。また、実際にレーシングマシンに乗ってデモ走行もおこない、駐車場を使った特設コースの周りは大勢の観衆が集まり、華麗なテクニックと迫力の走行音の魅力を楽しんでいました。

Interview

大規模なイベントでも安心してお任せできました

和泉さん：今回のイベントは、ツツイエンターテイメントさん、FMおかざきさん、セレスポさんなど複数企業と一緒にコンソーシアムを組んで企画から開催までを行いました。選定にあたり重視したのは実績。規模が大きく世界的な企業にも協力いただくイベントなので、信頼できる企業に頼みたいと考えていました。

セレスポさんには会場設営をお願いしたのですが、資材の搬入時など各企業さまとの調整もやってくれたほか、「こういう企画をやりたい」と言うだけで「それならこれが必要になります」と意図を汲んで必要な設備等の提案をしてくれました。社員の方々と話していても情報共有がされていて話が早い。関係者が多くなる大規模イベントだととても頼りになります。

白井さん：セレスポさんとは20年ほど一緒にイベントの設営、運営をやってきました。本イベントではセレスポさんが設営、ツツイが運営を担当。大規模なイベントだと企画段階では想定できないことも発生しますが、セレスポさんは先んじて提案をしてくれます。完成図ができていない状態でも TENT を組んでくれるなど、レスポンスがとにかく早いことに驚かされます。

今回駐車場を特設コースにするため、ガードレールを用意する必要があったのですが、予算の関係で用意が難しくなったときにも「どうしても必要です」と熱意を持って説明をしてくれ、精一杯予算内で対応してくれたのは印象的でした。市や消防等への許諾申請も請け負ってくれるなど、いつも本当に助かっています。



岡崎活性化本部 まちづくり担当
和泉 秀明 (いずみひであき) さん



株式会社ツツイエンターテイメント
代表取締役
白井宏幸 (しらいひろゆき) さん





「岡崎市は自動車と深く関わってきた町ですので、今回の市制100周年事業では早くから自動車を扱うイベントを考えていました。このイベントで来場者にモータースポーツの活性化、安全強化、ものづくりの文化醸成など自動車の魅力を伝えるとともに、自動車とともに成長してきた岡崎市の未来を感じてもらいたいと考えていました」(実行委員会)

当日は、冷たい風が吹くものの晴天に恵まれ来場者は15,000人。子どもから高齢者まで幅広い年齢層が集まり、古くから自動車を愛してきた町であることが伝わってきました。

ご当地キャラや 体験ブースなどで 大人も子どもも楽しめる

特設レーシングコースでは、各種レーシングマシンのデモ走行やバイクアクロバットなども実施されました。英国のスポー

ツカー、ロータスなど往年の名車が走る姿をカメラに捉えようとする来場者も。

体験ブースでは、最新の自動車シミュレーターを用意。トラックの死角やシートベルト効果の体験ができました。子どもたちはゴーカートや子ども用のペダルなし二輪車を体験、大人と子どもそれぞれがモータースポーツに親しめるよう工夫されていました。

同イベントには岡崎市や愛知県のご当地キャラクターも集合。岡崎市の非公式キャラクター「オカザえもん」はハトコの「ワルザえもん」と一緒に参加。中日本高速道路の「みちまるくん」、岡崎市のもう一人のご当地キャラクター「みそぎくん」たちも会場を盛り上げました。

フードブースでは岡崎まぜめん、額田(ぬかた)のしし汁など岡崎市や愛知県の味が楽しめ、岡崎を余すことなく堪能できました。老若男女問わず、来場者それぞれの自動車への想いが笑顔として現れ、一緒に岡崎市を盛り上げようとする市と市民、企業が一体となったイベントでした。

Event Data

- 2016年12月11日10:00~16:00
 - 来場無料
 - 岡崎中央総合公園
 - 岡崎モータースポーツフェスティバル実行委員会
- 〒444-8611 愛知県岡崎市電美南1-2 (岡崎商工会議所内 3F)
TEL:0564-57-0200



REPORT

施工の経験を 生かしていきたい

株式会社セレスポ
名古屋支店 営業課
塩田 皓(しおた ひろし)



入社後、長らく施工担当として現場の設営をメインにやってきました。今回のイベントでは営業担当としてお客さまの近くで、ツイエンターテイメントさんや施工スタッフとともに仕事をしていくなかであらためて気付いたことがあります。それは人と人のつながりを大事にするということ。主催者や出展者のかたとも、できるだけ電話で直接話をしたり、普段から雑談をして打ち解けていったりコミュニケーションを大事にすることを心がけました。関係者の方々と信頼関係を築くことがイベントを成功させるための大きなポイントだと考えています。

また、イベントを運営するにあたり主催者の方はいろいろな心配があると思います。例えば、今回は駐車場を特設レーシングコースにするということで、安全を考慮し重量のあるガードレールを用意しました。「安全性を確保するにはこのぐらいの人数が必要」というイメージをもって作業ができたのは施工担当の経験があったからだと思います。しかし、十分に気をつけていても不測の事態が発生してしまうこともあります。そのような時にこそ素早い対応をしてお客さまの心配を取り除くことができるのは、これまでの経験があるからだだと思います。

当社の強みのひとつは、自社で施工を請け負い、設営まで行っていることだと思います。このノウハウを生かして、お客さまや協力会社さまと力を合わせて安心・安全なイベントを提供していきたいです。



セレスポ
Pick Up

国際標準規格 (ISO 20121) を認証取得 イベントの持続可能性を組織全体で強化!

セレスポは、2016年11月28日に全国26拠点の全てにおいて、イベントの持続可能性に関するマネジメントシステムの国際標準規格である「ISO 20121」の認証を取得しました。イベント制作会社として組織全体を対象とした認証取得は日本初となります。

ISO 20121とは?

「イベント」や「イベントに携わる組織」の運営において環境面、社会面、経済面への影響を配慮してサステナビリティに取り組んでいくためのマネジメントシステム (Event Sustainability Management System: ESMS) についての国際標準規格です。

英国規格の BS 8901 を基にして2012年に発行されたこの規格は、オリンピックを始めとする大規模な国際イベントか

ら地域レベルのイベントまで、規模・形式・ジャンルを問わず、主催者や制作会社をはじめイベントに関わる全てのステークホルダーが活用でき、2020年東京オリンピック・パラリンピックでも採用が予定されております。

2016年12月13日に、東京ミッドタウンカンファレンスにて、ISO 20121の認証授与式が行われ、認証審査を務めたSGS ジャパン株式会社の認証サービス事業部長の竹内裕二氏より弊社代表取締役 稲葉利彦へ認定登録証が手渡されました。授与式にはISO 20121 策定会議の議長を務めた Positive Impact 代表 Fiona Pelham 氏にもご参加いただき、祝辞をいただきました。

「この認証を機に、オリンピック・パラリンピック関連のみならず、すべてのイベントにおいて、できるかぎりサステナビリティの概念を形にして、環境・経



写真左からフィオナ・ペラム氏、稲葉社長、竹内事業部長 (SGSジャパン株式会社)
2016年12月13日(火) 認証授与式にて

済・社会によりイベントを増やしていきたいと思えます」(稲葉利彦)

「日本からのインプットは非常に意義深く、今までのセレスポのサステナビリティに関する取り組みや支援から今後もさらなる活躍を確信しています。セレスポの認証取得はサステナビリティの普及、浸透に貢献する大きな一歩であり、これをきっかけにISO 20121の認証取得組織が増加することを期待しています」(Fiona 氏)

弊社では、これまでもイベントの持続可能性の推進を目的として、社内に「サステナブルイベント研究所」を設立し、サステナビリティに関する取り組みを積極的に行っておりましたが、このISO 20121の認証取得により、組織運営およびイベント制作における持続可能性への取り組みをさらに促進させてまいります。

【ISO 20121 の認証取得をしている主なイベントおよび組織】

イベント・組織	形態	国
ロンドンオリンピック・パラリンピック	イベント (スポーツ)	イギリス
世界トライアスロンシリーズ横浜大会	イベント (スポーツ)	日本
平昌オリンピックパラリンピック	イベント (スポーツ)	韓国
Sydney Festival	イベント (フェスティバル)	オーストラリア
2013 中台湾ランタンフェスティバル	イベント (フェスティバル)	台湾
日本コンベンションサービス株式会社	コンベンション企画・運営	日本
Marina Bay Sands	施設 (ホテル)	シンガポール
Manchester United	主催者	イギリス
The Coca Cola Company	主催者	イギリス

発行

発行日：平成29年1月20日

発行元 株式会社セレスポ
(CERESPO CO.,LTD.)
〒170-0004
東京都豊島区北大塚1-21-5(本社)
TEL : 03(5974)1111
FAX : 03(5394)7651
http://www.cerespo.co.jp/

編集 山川 謙 (yawn)
記事 コーポレートデザイン室
デザイン シッピーデザイン

編集後記

今から25年以上前に公開された映画「バック・トゥーザ・フューチャー PART2 (1989年)」では2015年に「空飛ぶ自動車」が描かれていました。このような未来は残念ながらまだ実現していませんが、現代の自動車は、自ら判断してエンジンを止めたり、危険を察知してブレーキをかける運転支援システムが導入され、衝突安全性もますます高まりました。今や自動運転も夢ではない所までに技術は進歩しています。

岡崎市のイベントでは、そんな自動車の最先端技術が凝縮されたモータースポーツの楽しさや魅力を感じるだけではなく、シートベルト着用の大切さ、トラックの死角認識やドライブシミュレーターでの危

険予測など、最新技術だけではカバーできないことも体験・学習することができ、ドライバーに限らず歩行者や自転車にとっても「安全対策と意識」の大切さを見直す機会となりました。

「今まで大丈夫だったから今回も大丈夫だろう」の慢心が事故につながります。これはイベントを開催することに置き換えても変わることはありません。国際標準規格「ISO 20121」を認証取得した会社として、これからも「安心・安全」を最優先に考え、より良いイベントを提供していきます。

